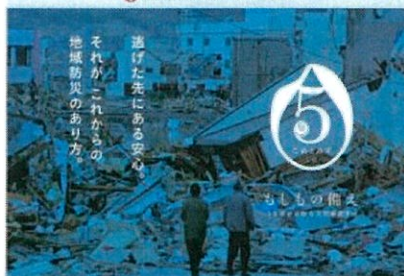


GOOD DESIGN AWARD 2017年度受賞

JT(日本たばこ産業(株))が復興支援で陸前高田市に寄贈した米品種、陸前高田市のブランド米「たかたのゆめ」が、防災非常食となって登場!



Tohoku Kit Vol.1

今後、各地域のお米を使用するなど、パッケージバリエーションを増やしていきます。

水を注いで温めて、あったかご飯が作れます。

5 items
preserved for 5 years

5年保存可能な5アイテム

※下記内容量は、5年保存可能な5アイテム。※パッケージは2種類、スモール1人用とラージ2人用。※外箱は、バッグ代わりになる取っ手型「スタンダードタイプ」と、収納に便利な「コンパクトタイプ」の2種。

- 岩手 陸前高田 たかたのゆめ
- 青森 熱帯気 白神山地の水
- 岩手 野田 のだ塩
- モーリアン ヒートバック
- プラスチック スプーン

5年保存の「逃げた先にある安心。もしもの備え」注文受付中

東日本大震災の被災体験をもとに、岩手県の障がい者施設が企画・加工した商品で、地域の防災意識・共生意識を変える

- 日本パラスポーツ推進機構

日本パラスポーツ推進機構は、障がい者との共生社会実現を目指すべく、パラスポーツによる健康増進と、障がい者就労支援施設が生産する農産物・加工品の販売協力による自立支援をしています。「健康」と「就労」は障がいがある人・ない人共通のテーマです。パラスポーツのサポーターとして地域で活動することとあわせて「食べて応援」することを提案しています。
- 東北大震災の被災地、岩手県

東日本大震災で被災した岩手県の障がい者就労支援施設の人たちが、今、その苦勞を乗り越えて、災害に備えてほしいとのメッセージを携えて、防災非常食を企画加工しました。
- 災害時の不安を解消する

最も大切なのは「飲めること、食べること」。「米と水」さえあれば災害が起きた「その日」をしのぐことができる。米と水を「ワンパッケージ」にすることで支援する方の労力軽減、さらに、あたたかいご飯を食べるための熱源をセットにしたことで、支援される方の不安と疲労を軽減することができます。
- 避難者としての経験を活かす

①生きるために必要最低限な米と水。②あたたかいご飯。③同じ場所で 同じモノを気兼ねなく食べられる安心。④小さくて軽い。⑤地域が支える。これらのキーワードをもとに「災害備蓄品」のデザインに取り組み、商品化に至りました。「逃げた先にある安心。もしもの備え」は地域社会全体の防災意識や共生意識が変わることが一番の目的の製品です。(就労継続支援B型事業所「かたつむり」からのメッセージ)

※ 商品取扱については以下の動画をご覧ください。
<https://youtu.be/sFPIGWZlqzs>

防災 備蓄食

2018.3.11 から販売開始

日本パラスポーツ推進機構は「パラスポーツ♥農福連携」プロジェクトを推進中

食べて応援!

パラスポーツ 農業 福祉

健康維持増進 地域の繁栄 就労で自立

- パラスポーツで、「健康維持増進」を推進
- 農福連携事業で、就労促進による障がい者の自立支援に取り組みます

裏面注文書

岩手県大船渡市の障がい者就労支援施設「かたつむり」が企画加工した防災非常食は、受注生産方式で、年間3回配送の予定です。
(受注状況により今後増える可能性があります)

	注文バッチ	発送
1回目	1/31 →	3/11~
2回目	5/31 →	7/20~
3回目	9/30 →	11/25~

APSPJ 一般社団法人
日本パラスポーツ推進機構

〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 2-14-7
日本橋テイクビル4F
Tel.03-6661-1271
<http://apspj.org/>